

学習内容報告書 フォーマット

学校名	只見町立只見小学校
授業者	加藤 健, 千葉 阜嗣

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

只見町の産業を調べよう

1-2. 学年

第5・6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

本単元では、これからの只見町を担う子供たちが、郷土をよりよいものにすべく、現在の只見町の産業構造について興味をもち、取材をとおして只見町の産業のよいところや課題に気付くことができるようにし、地域社会の一員としての自覚を高めたいと考えた。

そこで本時では、子供たちがお世話になっている方をゲストティーチャーとして招き、直接話を聞くことで、苦労や努力に気付かせ、これからの産業について考えさせたい。取材を通して、只見の産業の素晴らしさと、第一次産業、第二次産業、第三次産業ともに、自然に関連した仕事が多いため、水害や気候変動の影響を受けていることに気付かせたい。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本単元は、自分たちが住む只見町にはどのような産業があるのか興味をもち、自分が只見町の一員として取材をすることで、仕事内容だけでなく、今後産業を発展させていくための工夫や努力、課題や悩みなどがあることに気付くことができるようにすることがねらいである。

豪雪地帯として知られる只見町に降る雪は日本海がもたらしており、只見町の自然を豊かにしている。そして、只見町にはこの豊かな自然の代表でもある「水」や「雪」を生かした産業が数多くある。しかし、2011年の豪雨災害や昨年の雪不足で、一部の産業は被害を受けている。そんな中でも、地域の産業が様々な工夫や努力をしながら地域のために貢献していることに気付かせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

只見町の産業について知り、取材を通して友達や地域の方々と思いや考えを交流することで、只見町の産業の工夫や努力に気付き、応援したいという気持ちをもつことができるようにする。

1-7. 単元の展開（全 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> 只見町の産業に関心を持ち、グループごとに取材先を決める。 	ウ グループごとに、一人一人が取材したい場所を理由を含めて出し合い、決定することができる。 (観察)
1	<ul style="list-style-type: none"> 質問事項をまとめる。 	ア 主体的な学びのために、掘り下げるような質問ができるように、取材相手の答えを予想して、追加質問などを準備することができる。 (観察・ワークシート)
3	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに第一次、第二次、第三次産業についての取材活動を行う。 取材して気付いたことから、他のグループと意見を交流したり、ゲストティーチャーの話を聞いたりして、自分たちの考えを深めることができる。 	イ 取材を通して、只見の産業の工夫や努力、課題や悩みなどにも気付くことができる。 (観察・ワークシート)
3	<ul style="list-style-type: none"> 取材した内容や取材して気付いたことを話し合い、グループごとにまとめる。 	エ 只見の産業の工夫や努力に気付き、応援したいという気持ちをもつことができる。 (観察・ワークシート)

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

取材を通して得られた気付きを友達やゲストティーチャーと交流することにより、只見の産業の工夫や努力、課題や悩みなどにも気付くことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 前時までを振り返り、本時のめあてを立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>只見の産業の工夫や努力、課題や悩みは何だろう。</p> </div> <p>2 ゲストティーチャーの話を聞き、考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業における、工夫や努力、課題や悩みなどを予想して話を聞く。 <p>3 わかったことをグループごとに整理してから、気付いたことや感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの産業も少なからず災害の影響を受けている。 ・ 只見の産業は、災害を乗り越えてきている。 <p>4 只見町の産業についての気付きを振り返り、次時の活動を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの取材内容を報告し合い、第二次産業、第三次産業の工夫や努力、課題や悩みについて共有する。 ○ ゲストティーチャーを招くことで、子供たちの興味関心が高かった、第一次産業に対する質問意欲を高めることができるようにする。 ○ ワークシートを使い、追加質問を考えたり、他のグループの質問やそれに対する答えを書き込んだりすることで、さらに詳しく質問できるようにする。 ○ これまでの経験を基に、子供たちの取材に答えていただき、只見町の産業のよさ、課題や悩みに気付けるようにする。 ○ 他の産業を取材して気付いたことと本時質問したことを比較しながら話し合いをすることで、只見町の産業のすばらしさと、課題に気付けるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈評価〉</p> <p>只見の産業の工夫や努力、課題や悩みに気付くことができたか。</p> <p style="text-align: right;">（観察・ワークシート）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の活動を通して気付いた素晴らしさや課題、悩み等に対する思いを発表することで、只見町の産業を応援したいという気持ちを共有できるようにする。

3. 今回の活動の自己評価

- 様々な産業取材していく中で、工夫や努力、悩み、課題にも気付くことができた。また、災害を人と人が助け合いながら乗り越えてきた事実を知ることができ、応援したいという気持ちをもつことにつながった。
- ゲストティーチャーの生の声が聞けたこと、農業での苦労や努力、町の将来を考えての思いも聞くことができた。そのことにより子供たちは、只見町の雪や水と農業を結び付けて考えることができた。
- 全ての産業の話を受けてからのゲストティーチャーの話だったので、話を焦点化することができた。
- ゲストティーチャーとの打合せにおいて、本時のねらいや話していただきたい内容等をしっかり確認することで、授業での話す内容や時間を調整することが必要であった。
- ゲストティーチャーの話の要点を、キーワードだけでも教師が黒板に書き残していけば、子供たちがさらに内容を捉えることができたと考える。



4. 今後の課題

ゲストティーチャーを活用したことで子供たちの意欲を高めることができた。しかし、子供たちにとっては少し難しい内容になってしまったことは否めない。

子供たちが、子供たちなりの学びの文脈の中で課題に向かって追究していくことができるよう授業を構想したり、ゲストティーチャーと綿密な打合せをしたりすることを大切にしていきたい。



5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。